

1. 授業の概要(ねらい)

子どもの多様性の理解と、保育・教育等における共生をテーマとする。具体的には、発達障害、LGBTQ、虐待、貧困家庭、外国にルーツのある子どもなど、発達や環境を背景として、多様な困難を抱える子どもたちの理解と保育・教育現場での支援、及び、保護者支援をテーマに取り組む。ゼミでは、文献研究によって基礎的な知識を学ぶと同時に、フィールドワークを通して、実践的に学びを深めていく。授業方法としては、プレゼンテーション、ディスカッションを通して現場の事例などを共有し、困難を抱える子どもや保護者の理解を深め、支援について討論を通して学びを深める。授業では、関心領域によってグループに分かれ、共同で調査等を行い、発表とディスカッションを行う。4年生は、卒業研究として、自分のテーマを深め最終レポートの作成に向けて研究を進める。

2. 授業の到達目標

- ・発達障害、虐待、LGBT、家庭の貧困、外国にルーツのある子どもの困難について理解する。
- ・多様な支援の領域を知り、理解を深める。
- ・資料の収集し、困難を抱える子どもの理解に対するプレゼンテーションに向けてグループワークを行うことができる。
- ・プレゼンテーションの仕方について話し合い、多様な発表の方法を企画・提案をすることができる。
- ・グループで支援現場へのフィールドワークを計画し、実施することができる。

3. 成績評価の方法および基準

資料作成と発表50%、グループワークなど授業への参加度50%で総合評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

浜谷直人・芦澤清音・五十嵐元子・三山岳 多様性がいきるインクルーシブ保育 ミネルヴァ書房
芦澤清音・浜谷直人・野本千明 子ども理解で保育が変わる一困難を抱える子どもと育ちあう一 群青社

5. 準備学修の内容

プレゼンテーションに向けて、資料収集、発表資料の作成、フィールドワークの準備は、すべて授業外に行うものとする。

6. その他履修上の注意事項

興味を持って主体的に取り組んでほしい。積極的にディスカッションに参加してもらいたい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
授業の進め方について テーマごとのグループ分けを行う
- 【第2回】 4年生の研究報告、及び、3年生の研究の進め方について
- 【第3回】 インクルーシブ保育の文献購読(LMS)
- 【第4回】 プレゼンテーションと討論(インクルージョンについて)
- 【第5回】 グループに分かれてフィールドワークの検討
- 【第6回】 グループごとにフィールドワークの計画をたてる。
- 【第7回】 フィールドワークの準備、文献研究
- 【第8回】 グループ発表の準備
- 【第9回】 グループ発表① 障害など発達に困難のある子ども関わる保育・教育現場の実情と支援
- 【第10回】 グループ発表② 虐待・マルトリートメントにかかわる現場
- 【第11回】 グループ発表③ 貧困、LGBTQ、外国にルーツのある子ども、保護者支援について
- 【第12回】 フィールドワークの実施
- 【第13回】 フィールドワークについての発表(障害、外国にルーツのある子ども、LGBTに関する支援現場)と討論
- 【第14回】 フィールドワークについての発表(虐待、保護者支援等にかかわる支援現場)と討論
- 【第15回】 今後の研究テーマと研究計画の発表